

■LEDユニットについて

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 AH40568L・AH40569L・AH40570L・AH40571L・AH40572L

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

⚠ 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。
⊘ 禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。 傾斜天井 壁面 不安定な場所 補強のない場所
🔧 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
⊘ 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
⊘ 禁止	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。
	！ 厳守 下図のような場所や配線器具の場合、取付けできません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。 配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。 傾斜天井 変形天井 サオブチ天井 格子天井 ローゼット シーリング ケースウェイはめ込み配線器具 ●配線器具の出しろが少ないもの シーリングボディ 20mm未満 埋込ローゼット 10mm未満 フル引掛シーリング 20mm未満 フル引掛ローゼット 8mm未満 ●破損している ヒビ割れ 欠けている グラスキや ガツキ ●電源端子露出形 電源端子
！ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

コイズミ照明器具 保証書 ※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。	
<保証について> 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。 3. ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。	
※This warranty is valid only in Japan.	
保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間	
取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号	
お買上年月日	
お名前	
ご住所	
電話 ()	

⚠ 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性があります。			
🚫 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。	🚫 禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
🚫 水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気が多い場所や屋外 では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		器具の下にストーブなどの高温のものを置か ないでください。また、燃えやすいものを近づ けて使用しないでください。 →火災の原因になります。
🚫 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必 要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。	⚠ 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。

■ 定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AH40568L・AH40569L・AH40570L AH40571L・AH40572L	AC100V	0.19A	10.8W	LED12球モジュール

※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■ センサの内容

センサ部について

<点灯時間設定スイッチ>
人を感知して点灯する時間の設定
ができます。

<点灯照度設定スイッチ>
人感センサのはたらきはじめる周
囲の明るさの設定とセンサの動作
確認(TEST)ができます。

短
中
長

点灯時間設定スイッチ
短…………約30秒間点灯
中…………約1分間点灯
長…………約3分間点灯

暗
明
TEST

点灯照度設定スイッチ
暗…………約20ℓxで点灯
明…………約60ℓxで点灯
TEST……周囲が明るい状態
でも点灯

■ センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで点灯照度と点灯時間を
設定してください

●センサの動作について

<センサ待機モード>
人が近づくとセンサが感知して点灯します。
※電源投入後は約45秒点灯してからセンサ待機モードになります。

明るい状態

照明は
消えている

暗くなると
センサが作動

暗い状態

いつでも点灯
できる状態

人が近づくと
センサが作動

暗い状態

点灯

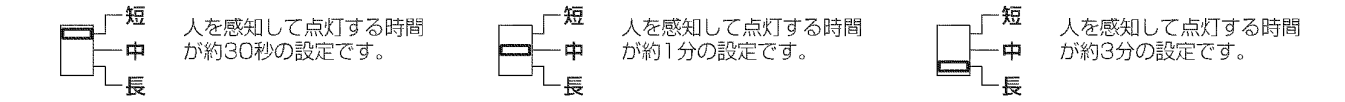
人が
いなくなると
設定時間後に

暗い状態

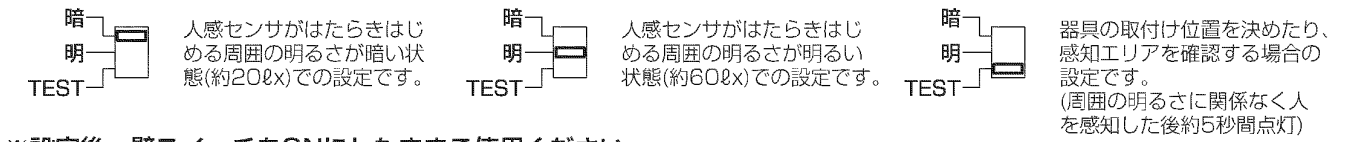
消灯

●点灯時間について(点灯時間設定スイッチ)

※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。



●点灯照度について(点灯照度設定スイッチ)

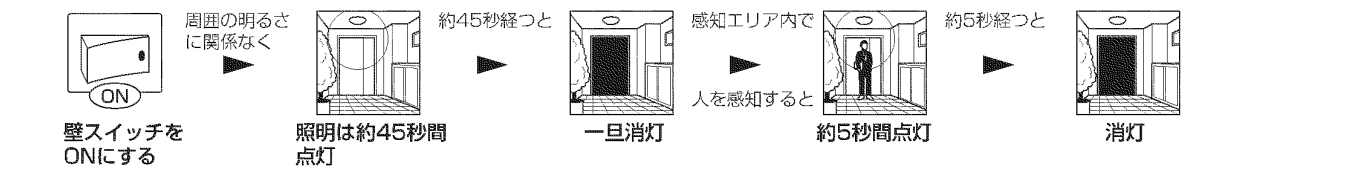


※設定後、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

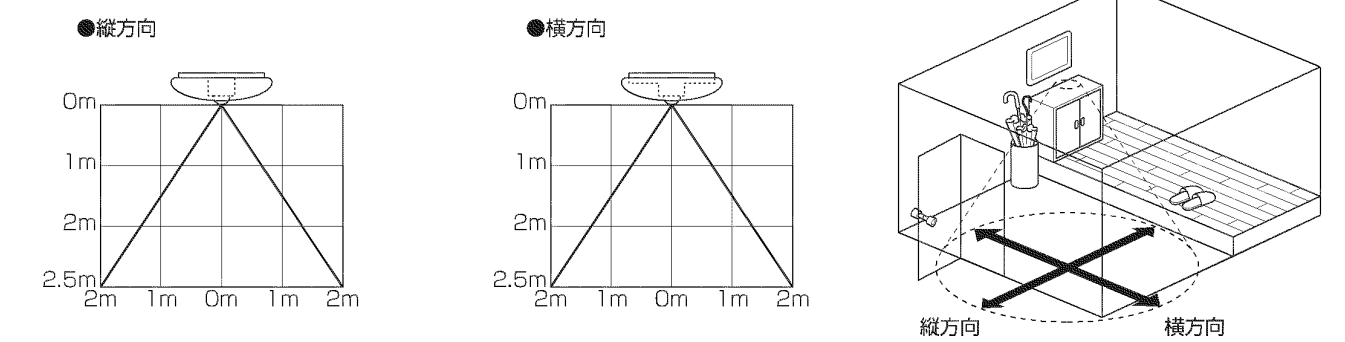
■ 感知エリアの設定

右図のように点灯照度設定スイッチを「TEST」に設定し、センサの動作確認と感知
エリアの確認を行なってください。

- ①電源投入後、約45秒間、点灯します。
- ②明るい時(昼間)でも人を感知する毎に約5秒間点灯します。



※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安
としてください。



※取付け高さは器具底面が床面から2.5m以内になるようにしてください。
※器具取付け位置は感知エリアを十分検討の上設定してください。
※センサに向かった動作では感知しにくい場合があります。

※エリア確認後は必ず点灯照度設定スイッチを「明」または「暗」にしてください。

■取付前の確認 △警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

1 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている配線器具が確実に固定されているか確認する。



シーリングボディ



フル引掛シーリング



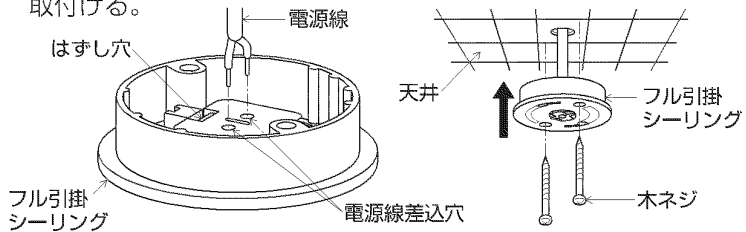
埋込ローゼット



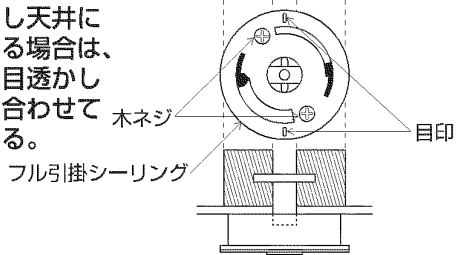
フル引掛ローゼット

2 配線器具がついていない場合

付属のフル引掛シーリングを木ネジで天井に確実に取付ける。



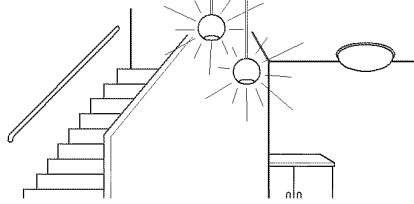
※目透かし天井に取付ける場合は、目印を目透かし方向に合わせて取付ける。



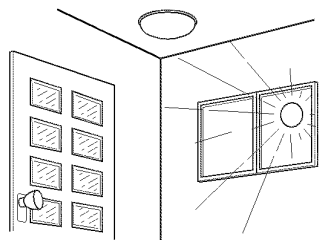
3 設置場所を確認する

- 下図のような場所には取付けない。
誤作動の原因になります。

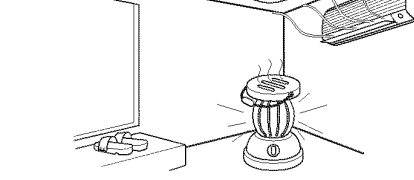
白熱灯照明器具の近くには取付けないでください。



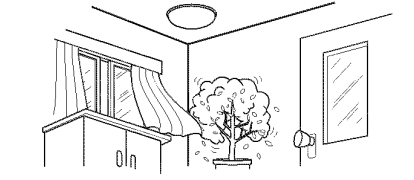
太陽光線や強い光が入る場合は、誤作動することがあります。センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。



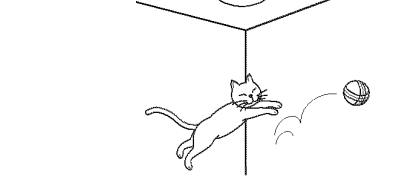
ストーブなどの高温熱源付近やエアコンなどの風のあたる場所には取付けないでください。



感知エリア内に障害物や風などでよく揺れるもの(植木、カーテンなど)のある場所には取付けないでください。



感知エリア内に小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。



- 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

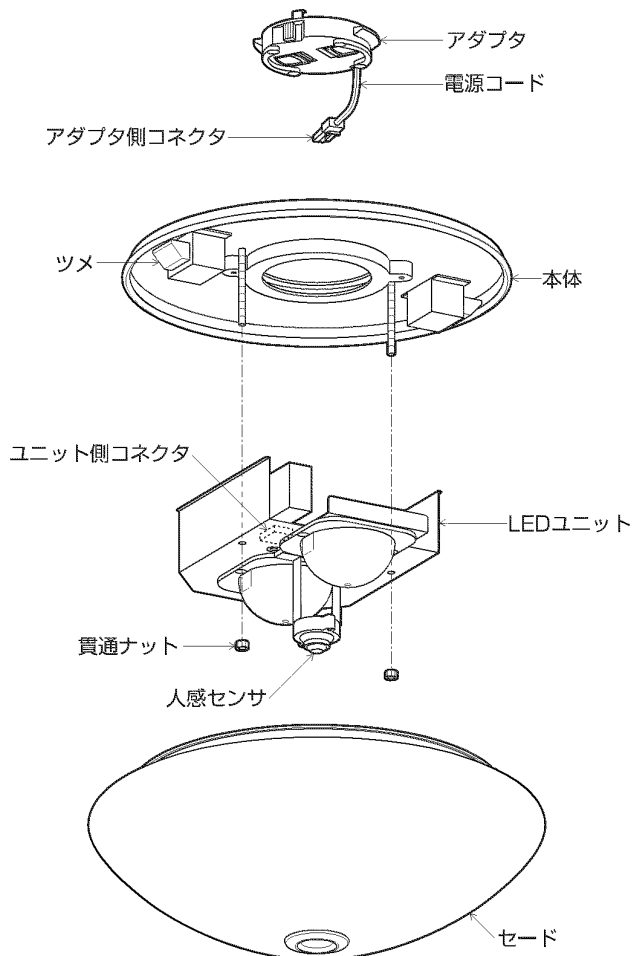
4 壁スイッチを設ける

誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

※天井の材質や構造によって、天井面が変色する場合があります。

■取付手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

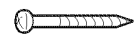
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉



フル引掛シーリング・・・1個

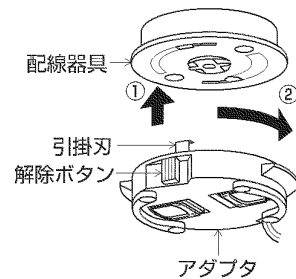


木ネジ・・・・・・・・・・2本

1 アダプタを配線器具に取付ける

アダプタの引掛刃(2本)を、配線器具にはめ込み、"カチッ"と音がするまで右に回す。

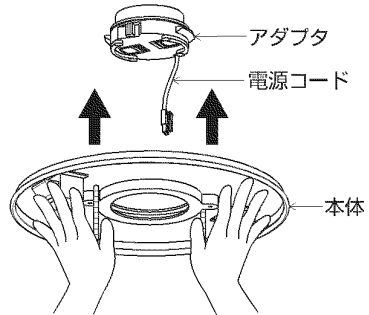
△警告 解除ボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。アダプタの取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。



2 本体を取付ける

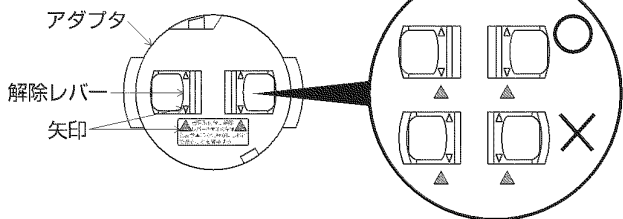
- ① 本体の穴に電源コードを通す。
- ② 本体をアダプタに合わせて押し上げる。

※本体の中央付近を押して、確実に取付けてください。



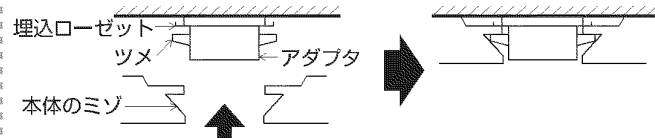
※本体の取付けは〈埋込ローゼットの場合〉、〈その他の配線器具の場合〉をご覧ください。

△警告 解除レバーの矢印の先端が、アダプタの矢印の先端にくるまで本体を押し上げてください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。



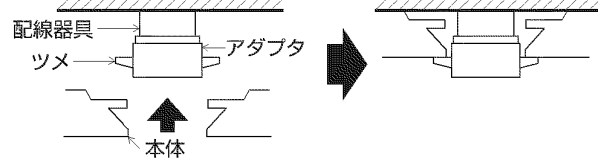
〈埋込ローゼットの場合〉

アダプタのツメに本体のミゾが引っ掛かるように1段階押し上げる。

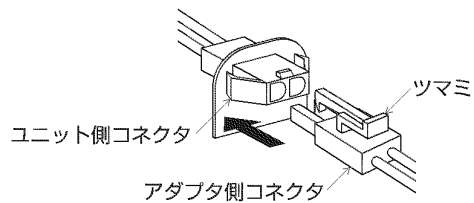


〈その他の配線器具の場合〉

アダプタのツメに本体が引っ掛かるように2段階押し上げる。
本体がガタつく場合は再度強く押し上げる。

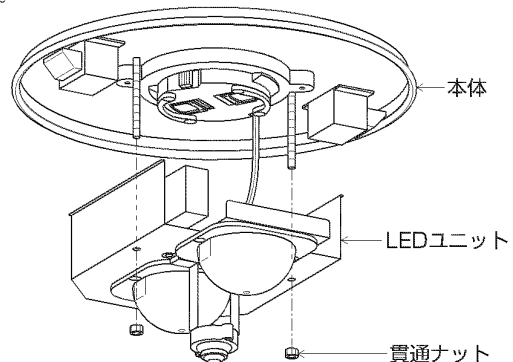


3 コネクタを接続する



4 LEDユニットを取付ける

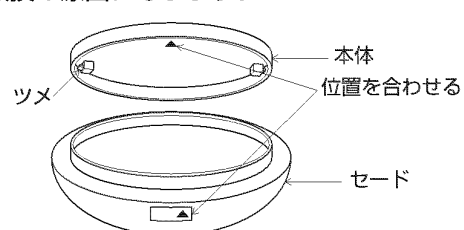
LEDユニットを本体に合わせ、貫通ナットで取付ける。



5 セードを取付ける

セードと本体の矢印を合わせ、まっすぐに持ち上げて確実に取付ける。

※取付けの際、セードをセンサ部に合わせてください。破損の原因になります。



6 点灯の確認を行なう

■取外手順

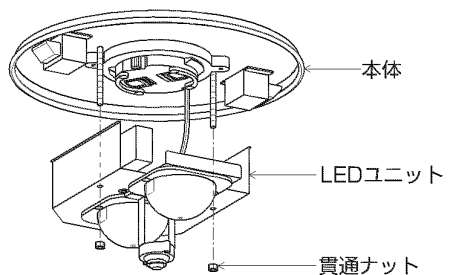
1 壁スイッチで電源を切る

2 セードを取外す

セードを“カチッ”と音がするまで右または左に回して取外す。

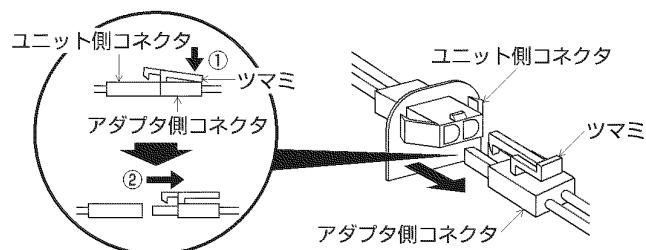
3 LEDユニットを取外す

LEDユニットを支えながら、貫通ナットをゆるめて取外す。



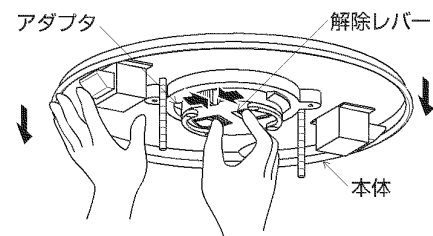
4 コネクタを取外す

コネクタをツマミを押さながら引き抜く。



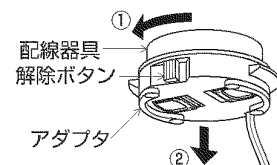
5 本体を取外す

本体を支えながら、アダプタの解除レバーを内側にせばめ、本体を取外す。



6 アダプタを取外す

アダプタの解除ボタンを押しながら、左に回し、アダプタを取外す。

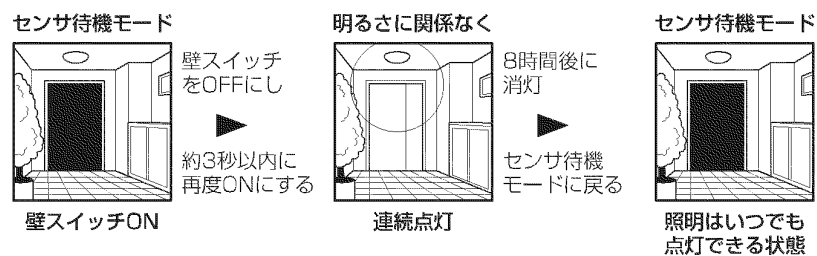


■その他の設定

●壁スイッチの操作で8時間連続点灯ができます。

<連続点灯モード>

長時間(8時間)連続点灯します。



■モードの切り替えを壁スイッチで操作する (ブルレス操作)

●この器具は、センサ待機モードと連続点灯モードを壁スイッチを使用して切り替えることができます。

※この器具を使用される場合は、必ず壁スイッチを取付けてご使用ください。
壁スイッチを使用しないとモードを切り替えることはできません。

電源OFF



壁スイッチ：OFF
ランプ：消灯

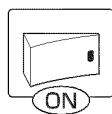
※ご使用の壁スイッチが、押しボタン式など電源のON・OFF状態がわからないタイプの場合は、下記の操作を確実にこなしてください。

人を感知して点灯させたい

長時間(8時間)点灯させたい

センサ待機モード

壁スイッチをONにします。
ランプが約45秒点灯してからセンサ待機モードになります。



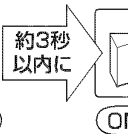
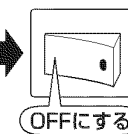
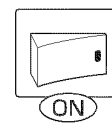
壁スイッチ：ON
ランプ：点灯できる状態

点灯照度：約20lx～60lx
点灯保持時間：約30秒～3分

※連続点灯モードに切り替えたい場合
壁スイッチをOFF→ONと約3秒以内の連続操作で連続点灯モードになります。

連続点灯モード

壁スイッチをONにします。
再度OFF→ONと約3秒以内の連続操作で連続点灯モードになります。



壁スイッチ：ON
ランプ：点灯

※連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的にセンサ待機モードに戻ります。また、連続点灯中に壁スイッチ操作(約3秒以内にOFF→ON)を行なった場合、再度その時点から約8時間の連続点灯モードになります。

※連続点灯は周囲の明るさ・人体感知に関係なく点灯する状態です。

※センサ待機モードに切り替えたい場合
壁スイッチをOFFにししばらく(約5秒以上)してからONにすると、約45秒点灯してからセンサ待機モードになります。

<ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されるとブルレス動作が正常にはたらない場合があります。
壁スイッチを3個以上使用される場合はホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

<パイロットスイッチなど、電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。

<押しボタン式など、電源のON・OFF状態がわからないタイプのスイッチを使用する場合>

スイッチを1回押しても点灯しない場合は、5秒以上過ぎてから再度押してください。

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。